

VII- 14

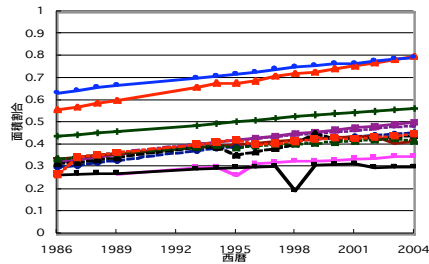


図2 建築面積

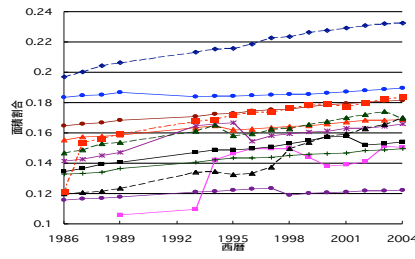


図3 道路

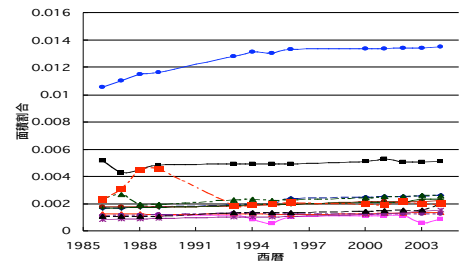


図4 橋梁

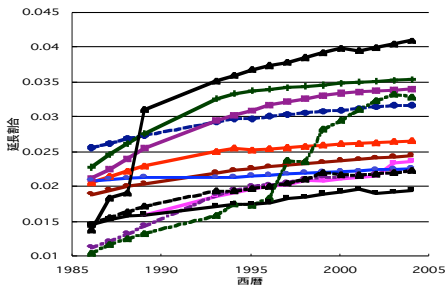


図5 下水道

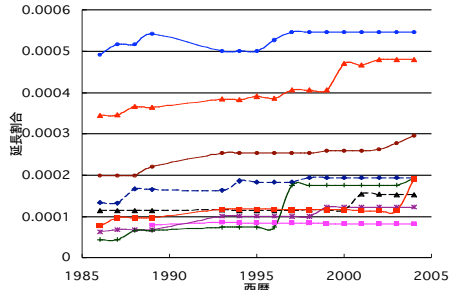


図6 地下鉄

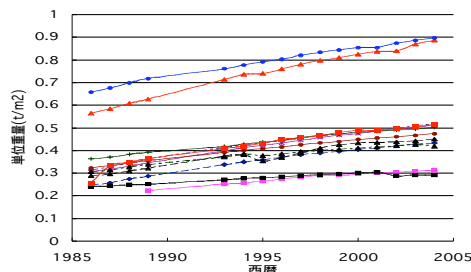


図7 基礎

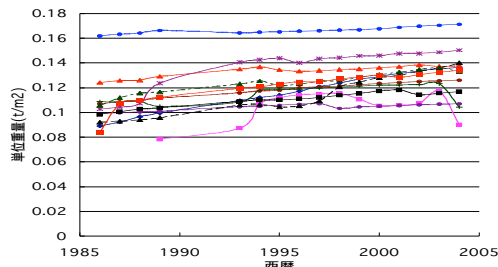


図8 路盤

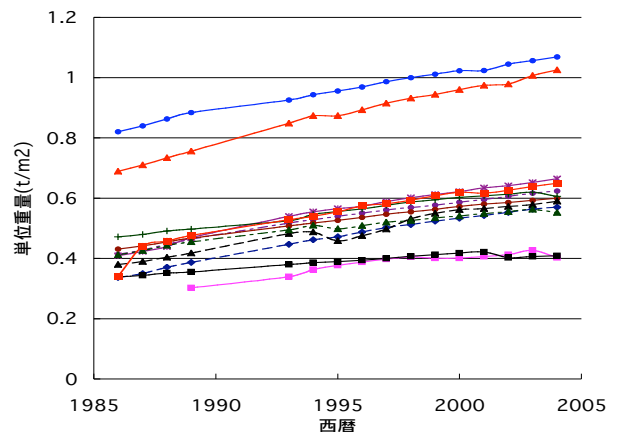
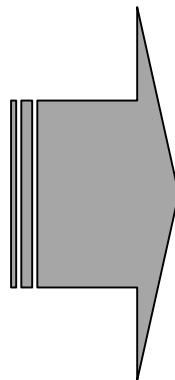


図9 基礎+路盤

建築物と道路をあわせた地下マテリアルストックを図3に示す。建築物の地下ストックが道路に比べて平均5.1倍であるため、建築物の地下ストックの影響が大きいことがわかった。本報告で算定の対象に入らなかった下水道や地下鉄といった都市基盤施設を算入することで、地下マテリアルストックはさらに増加することが予想される。

今後の課題としては以下の通りである。

- (1) 地下マテリアルストックに加えていなかった橋梁、下水道、地下鉄の算定。
- (2) 上水道、ガス供給施設、護岸等、今回対象としていなかった構造物の算入。

参考文献

- 1) 大都市比較統計年表：発行／大都市統計協議会
- 2) 東京都政策報道室：東京都が管理する社会資本の維持更新需要額の将来推計-2001～2030年度、道路、橋梁、上水道、下水道、地下鉄、住宅を中心に-
- 3) 坂本 辰徳：建設セクターのマテリアルフロー定量化を目指した資材投入量原単位の推計
- 4) 横浜市統計ポータルサイト

<http://www.city.yokohama.jp/me/stat/index.html>